

議会だより

からうら

No. **39**

2007. 4. 30発行

30億400万円の
19年度予算を可決

2

議員定数10人に

3

副町長(助役)の
選任に同意

3

ゴミ焼却
小松島市に委託

4

10議員
町の考えをたず

6

みかん作りが長生きのもと

14



30億400万円

32億 147万9千円

3月定例会

特別会計予算の内訳

国民健康保険	8億5,992万円
老人保健	8億4,288万円
介護保険	6億3,039万円
勝浦病院	7億9,700万円
簡易水道	4,031万円
農業集落排水	2,245万円
住宅新築資金	850万円

十九年度各会計予算

約六十二億五百万円を可決

三月定例会は六日から二十日までの十五日間開かれ、十八年度補正予算、十九年度予算を全員一致で可決、議員定数を十二人から十人にする議員提出議案は質疑・討論の後、賛成多数で可決しました。一般質問では十議員が町の考えをたえました。

議案に対する主な質疑

問

ゴミ焼却を小松島市に一トン当たり四万五千円で委託するが、民間業者は四万二千円で処理出来ると言う。安い所に任せるのが町民の利益になるのではないか。

答

町長 総合的に検討して、安全安心して任せると判断した。

問

町道の改良は、十八年度に対応出来ない所を優先的に行うのか。

答

また、各地区公平に取り組んでいるか。産業建設課長 十八年度は四十カ所の要望があり、残っている所も多いが再度区長会で要望を聞き、取り組んで行く。

また、基本的には偏らないよう配慮しているが、急を要する箇所もあり公平に行かない場合もある。

一般会計

特別会計



中学校体育館耐震工事に約5,000万円

議員提出議案

議員定数十人に

議員数を現在の十二人から十人にする議案を大西議員が四人の賛同を得て提出しました。

提案理由

〈大西議員〉

厳しい財政状況から改革を進めているが、今後も町民の理解と協力が不可欠であり、議員自らも範を示すべきだ。

反対の意見

〈井出議員〉

議会はさまざまな町民の声を反映するのが大切で、これ以上議員数を減らすのは町民の利益に反する。

〈中西議員〉

各地区が同じような利益が得られる議員配置が必要である。

賛成の意見

〈松田議員〉

議員数が減っても一人ひとりが住民の意見をしっかりと受け止め、町全体のことを思い審議し解決して行けば不利益は生じない。

■賛成

松田、大西、川端、国清、溝田、福徳、森敏、西浜の八議員

■反対

井出、原田、中西の三議員

の賛成多数で可決しました。

今年六月に行われる選挙から適用されます。

議員報酬削減を継続

議長・副議長の報酬10%、議員 5%のカットを十九年度も継続する議案が総務産建委員から提出され全員一致で可決しました。

副町長の選任に同意



折野好信氏 (45歳)
(徳島市応神町)
前 徳島県総合政策局
課長補佐

教育委員会委員

富士巻 邦江 氏 (生名)
の任命に同意しました。

文教厚生常任委員会

ゴミ焼却

小松島市に委託

一月三十一日と二月二十八日に委員会を開き、十八年度補正予算や十九年度予算、条例改正案などについて審議しました。

住民課長から ゴミの焼却を一トン当たり四万五千円で委託するとの説明がありました。

問 焼却施設の修繕費などの負担は必要ないのか。

答 住民課長 維持修繕費は委託単価に含まれる。他の費用も要らないように契約書に盛り込む。

病院事務局長より 新年度予算等の説明がありました。

問 入院患者が減った要因は。また、結核病床五床は必要なのか。

答 病院事務局長

費用負担の増もあるが、日赤からの転送患者も減っている。また、結核の五床については、改善時に県が廃止を許可してくれなかった。

福祉課長より 一般会計予算等の説明がありました。

問 子育て支援事業費が増額されているが。

答 福祉課長 保育所で子育てや食育

についての講演会の謝礼、パソコンなどを購入する予定である。

委員会として 三月定例会に提案することに同意しました。



小松島市のゴミ焼却場

委員会ハイライト

総務産建常任委員会

公債費のピークは脱している

一月二十五日と二月二十七日に委員会を開き、勝浦川バラスしゅんせつについての陳情や、三月定例会に提出される十八年度補正予算、十九年度予算などについて審議しました。

参事から 十九年度予算について説明がありました。

問 起債残高の推移は。

答 参事 十七年度末四十八億円、十八年度末は四十四億円で、十九年度末は四十億円になる見込みである。

産業建設課長から 地籍調査と県道の工事状況について説明がありました。

問 地籍調査の予算が年々減額されているが問題点は。

答 産業建設課長

国が予算をつけても県の予算枠が少なく、十九年度も減額される見込みである。

委員会として 十八年度補正予算、十九年度予算等については三月議会に提案することに同意しました。

勝浦川バラスのしゅんせつについての陳情は不採択としました。



毎年減額される地籍調査費

旧坂本県道の移管時期は

森 敏治議員



老朽箇所（町長）の補修後に

問 旧県道の改良工事が進まないがどうか。

また、町道への移管時期はいつになるのか。

答 町長 坂本バイパス完成により、県は旧県道について維持補

修は行すが、改良工事は行わないと言っている。老朽化した旧トンネルや橋梁の維持補修を要望し工事完了後、議会と協議してから県に回答したい。

正木ダム建設に伴う確約 何を優先すべきか

道路改良と
堤防補修（町長）

問 正木ダム建設時、勝浦郡と県との間に二十八項目の確約がある。現在、二車線化を推進しているが、未実施のもので何を優先して要望して行くのか。

答 町長 二車線化を早急に進めながら、町民の生命、財産を守るために堤防の補修等も要望して行きたい。

県道柳原工区 工事内容の変更はどうしてか

福徳重二議員



壁面崩落のおそれ（産業建設課長）

問 柳原工区の拡幅工事が進んでいるが、計画していた工事内容と違う変更したのはなぜか。

答 倉坪産業建設課長 立木を伐採すると勾配の関係で壁面崩落のおそれがあり、県は計画を変更したようだ。



町長

**CATV事業
光ケーブル
引き込みに問題は**

問 各家庭に引き込んでいる光ケーブルが他人の土地上空を通っている所があるが、所有者の了解は得ているのか。

答 町長 工事業者が土地所有者と話をした上で、トラブルは起こらないと思う。



少しは広がった柳原



老朽化した旧坂本トンネル

過疎債延長への取り組みは

関係市町村と連携し国に強く働きかける (町長)

中西晴美 議員



十九年度予算案 町道改良費の増額を

問 三十億四百万円の予算で町民の要望にこたえることが出来るのか。

中でも町道改良費が三千五百万円ではあまりにも少なすぎる。増額すべきでないか。

また、今後の財政見通しは。

答 町長 現在の財政状況では厳しい

予算にならざるを得ないが、工夫して町民に納得してもらえよう努力する。

町道については区長会で各地区の要望を聞き、危険度の高いところから優先的に改良して行く。

答 戸川参事 前年より

減の予算だが、税源移譲に



商品券購入限度額引き下げ

町内産業の支援策は

より町税は二十四%増となっている。新型交付税が人口割八十%、面積割二十%になると過疎化に悩む小規模町村では、今後、非常に厳しい財政運営を余儀なくされる。

問 みかん産業の現況と県の支援策は。

また、商工業振興対策として好評の商品券に対する補助を増やすべきだ。

答 倉坪産業建設課長

J Aの取扱量などから推計すると、十七年度産みかんは七千六百七十トン、キロ単価百四十九円で約十一億五千万円の販売額となる。十八年度産は二月で二百六十五円の単価となっている。町内の栽培面積は三百haで約五百戸、八百六十人が



倉坪産業建設課長

従事している。

県の農業支援策としては「新鮮とくしまブランド戦略展開事業」の他に二事業がある。

答 町長 農業、農村の

の課題があるが、県単事業を拡充強化しよう申し入りたい。

商品券には前年同様三百万円を補助しており、購入限度額の引き下げなど工夫をして、より多くの人に利用してもらいたい。

新たな子育て支援は

問 子供の育成に関する予算と新たな支援策は。

答 岩佐福祉課長

合計一億一千四百万円余りである。

答 町長 十八年度から

七歳児までの入院、通院費の無料化と今議会に提案している第三子の四、五歳児の保育料無料化などの支援策がある。

「自立か合併か」 方向性を示すべきでは

新たな枠組みが示された時に (町長)

川端雅夫議員



の合併審議会で新たな枠組みが示された時、最善の方法を考えたい。

総合検診の 委託先は

平成二十年から今までの検診制度が国保

に移行するが、どこに委託するのか。勝浦病院にした場合、対応が出来るのか。

答 町長 院長も非常に

強い決意を示しているので、総合的に考え、勝浦病院で良いと思う

問

合併について「その時が来れば決断をする」という答弁から、「近隣市町村の動向を確認した上で」とスタンスが変わってきたが、早く町民に自立か合併かを示すべきではないか。

答 町長 東部地区行政懇話会でも将

来は合併について協議しなければと考えているが、県

答 幸野病院事務局長

病院では一月に講師を招き研修をしている。人員、施設に関する基準は全てクリアしており、すぐにでも取り組むことが出来る。



幸野病院事務局長

国民文化祭 宣伝と集客方法は

問

秋に開催される国文祭では、人形文化交流館で「人形と花のフェスティバル」今山農村舞台で「人形浄瑠璃」の公演が行われるが、宣伝方法は。

また、集客のため徳島駅から専用バス運行の予定は。

答 秋成教育委員会事務局長

県外への宣伝は宅配便を利用し、この中に雛人形などのパンフレットを入れ発送してもらっている。

また、徳島駅前勝浦町の案内所を設置し、毎日専用バスを運行することになっている。



秋成教育委員会事務局長

畑総農道

町道に編入の約束は

問

町が繰り上げ償還すれば町道に編入すると言う約束であったが、まだ実行されていない。受益者に対しての説明責任があると思うが。

また、災害予防の対策や舗装についての対応は。

答 町長

町道に編入した場合、水利権や台帳整理、老朽化のための維持補修費がかさむことから保留している。地元理解が得られるよう説明したい。

答 倉坪産業建設課長

緊急の時には県単土地改良事業で対応したい。簡易な維持補修は中山間直接支払制度の共同取り組みの中で対応してもらいたい。



国文祭の会場 今山農村舞台

高齢者住宅の耐震援助を

実施市・町の
調査をしてみたい（町長）

井出美智子 議員



問 阿波市などでは高齢者世帯に家具転倒防止の金具代を町が補助し、建設労働者がボランティアで設置作業を行っている。多額の工事費が必要な住宅の耐震改修を推進するより、少ない予算で災害被害を軽く出来る施策として、本町でも実施してはどうか。

答 町長 現在は県の制度を利用して耐震改修をしているが、阿波市や美波町で実施している事業を調査してみたい。

就学援助をもっと受けやすく

問 少子化対策のために就学援助制度を見直し、以前の基準に戻すべきでないか。

答 町長 財政が厳しいので、十五年七月に見直しをしたが、特別の事情があるときは援助出来るようになっていく。

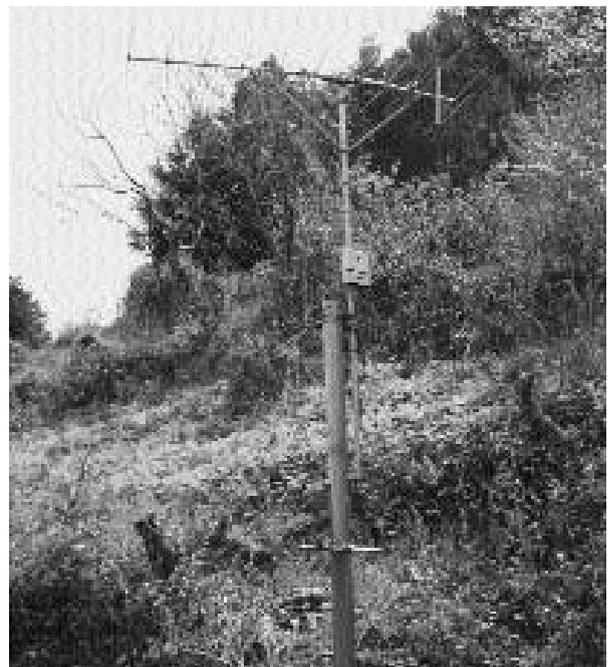
高齢者の

税負担軽減を

問 高齢者控除の廃止や介護保険料の引き上げなど、高齢者の負担が大きくなっている。その対策の一つとして阿南市、吉野川市、那賀町では要介護一から障害者控除認定の証明書を発行している。町長の判断で証明書の発行が可能なのだから、該当者全員に送付してはどうか。

また、証明書の発行数は。

答 岩佐福祉課長 要介護四、五の該当者が十九人、その中で申請のあった三人に発行した。



撤収される共同アンテナ

答 町長 申請があつて証明書を発行することになっているが、現状では要介護一から三については発行しない。

共同アンテナ撤収 視聴できない 世帯の把握は

答 町長 未加入世帯へは電話や手紙で連絡している。締め切り後の申し込みについては補助出来ない。

問 ケーブルテレビに加入していない世帯が共同アンテナの撤収により



町長

町広報に

商工業者の広告を

行政改革推進チームで検討する

(住民課長)

溝田義昭 議員



問

財政の厳しい小松島市では、歳入確保のため市の広報に商工業者の広告を掲載している。勝浦町も沈滞する商工業の振興を兼ねて安い値段で広告を掲載してはどうか。

答 松田住民課長

町広報は公共性を保つ中で住民参加の紙面づくりに取り組んでいる。歳入確保だ

基金の見直しや活用を

問

けにとられず商工業の振興なども含め、行政改革推進チームで十分協議、検討を重ねて行きたい。

十三億八千万円の基金の中で土地開発基金四千三百八十万円、横瀬橋架けかえ周辺対策事業基金五千五百万円、自ら考え自ら実践する地域づくり基金一億円は見直しや活用を

考えるべきだと思うが。

答 戸川参事

十五の目的基金があるが、今後、全体的な基金の検討を議会でも論議してもらいたい。

たい。

今後どうする

集落排水

問

農業集落排水事業の起債償還の最終年度、現在の供用率と供用率向上のための取り組み状況は。また、施設の老朽化に伴



今後どうなる県集落排水施設

答 松田住民課長

い修繕費等の増大も懸念されるが、利用料が合併浄化槽の維持管理費以上にならないように設定すべきでは。



松田住民課長

答 町長

率に八十%の目標に対して六十四%で数年あまり変化はないが、最近供用率向上の取り組みは出ていない。

今後、費用の増大が予想されるが町の負担、個人の負担にも限界がある。合併浄化槽の維持管理費と同等に近い額までのアップは止むを得ないかとも思うが、今後、検討して行きたい。

楽ビジョンで広報を閲覧できるようにしたい

問

テレビのインターネットで上勝町広報の内容は見られるが、勝浦町のはパソコンでしか見られない。町広報や議会だよりも楽ビジョンで見えるようにすべきだ。

答 戸川参事

楽ビジョンの普及と合わせて町広報、議会広報などが見られるように整備して行きたい。

地籍調査の予算確保を

関係市町村と連携し要望していく
(産業建設課長)

西浜勝己議員



係する市町村と協議し要望していききたい。

施設使用料 徴収のデメリットは

問 行財政改革の一環として住民から公共施設の使用料を徴収する事になるが、デメリットはないのか。

答 町長 住民に厳しい財政状況を理解してもらい協力をお願いしたい。スポーツ振興に支障を来さないよう努力する。

答 倉坪産業建設課長

地籍調査開始から三年経過したが、毎年予算が減り当初の計画が大幅に遅れている。予算枠獲得に向けて具体的な行動を展開すべきではないか。

防災対策 地域の特徴を 生かしたマニュアルを

問 自主防災組織を全町的に進める方針だが、町の地形にあった独自性のあるマニュアルを作成すべきと思うが。

答 戸川参事 町として独自の条件下での防災マニュアル作成が大きな課題だが、全町に自主防災組織を立ち上げ、住民意識を高めながら進め



金比羅堤防の補強も確約の一つ

ていく。

答 町長 勝浦町は急しゆんな地形が多く、がけ崩れに対する災害予防と対策が必要で、急傾斜事業も行いながら災害に強い町づくりを目指したい。

簡易水道 町営化すると どう変わるのか

問 組合長会議でどの程度協議が整ったのか。また、町営化になるとどう変わるのか。

答 倉坪産業建設課長 組合長会議を二回開催し、町の方針を説明してきた。水道料金は町に入るが、組合運営は各組合に任せることになる。

正木ダム建設時の 関連二十八項目を 再確認せよ

問 昭和五十二年の正木ダム建設当時、知事と郡町村会長との二十八項目の確約の中に未実施分がある。再確認する必要があるのでは。

答 町長 行政間の約束事は有効であり、議会とも協議し再確認の場を持ちたい。



戸川参事

教育三法改正の影響は

教育現場の混乱等が懸念(教育長)

国清 栄 議員



問

教育再生会議と中央教育審議会により教育行政法、学校教育法、教員免許法の三法が答申されているが教育長の見解は。

答 教育長

また、学力低下の対応策の一つとして取り組んでいる習熟度別授業の成果は。学校教育法については、教育現場の混乱や週五日制が今後

どうなるかなどが懸念される。教育行政法では町村の教育委員の中に一人の保護者が入るということになる。十分機能を果たせるのか不安もある。

また、習熟度別少人数教育については生小で一人の教員加配があったのでうまく活用出来、効果も上がっている。



教育長

町外からの一時滞在児保育所での受け入れは

条例改正や他自治体との協議が必要
(福祉課長)

問

平成二十年度をめぐりに二保育所の内一カ所を民営化に向け取り組みというがどの程度話が進んでいるのか。

また、町外からの一時滞在児の保育所での受け入れについて、よく調査研究するとの事であったがどうなっているのか。

答 岩佐福祉課長

第二次行財政改革の中で一保育所の民営化推進を発表した。小松島市と阿南市の社会福祉法人五カ所を訪問したが具体的な話には至っていない。



一時滞在児の受け入れには問題が

勝浦農業に行動的な組織作りを

実践できる体制が必要
(町長)

問

勝浦農業の将来の在り方に対してビジョン策定と、行動の出来る組織作りが必要と思うが。

答 町長

農業団体の組織強化のため農業委員会、JA、行政、就農者との連携を図り、実践活動が出来る組織体制が必要と考えている。

十九年度予算の 重点施策は

勝中体育館耐震工事など(町長)

大西一司 議員



料化等である。

また、防災対策として全地区に自主防災組織の設置を進め、全町一斉の防災訓練を計画している。

問 町の十九年度予算で重点施策は何か。

また、県は知事選挙のため骨格予算となっているが県単事業、県補助金等に影響はないか。

答 町長 主なものとして勝中体育館

の耐震工事、国民文化祭の開催、環境保全対策事業、ゴミ処理の外部委託、第三子の四、五歳児保育料の無

県道改良予定は

柳原は今年度完成予定 (産業建設課長)

問 県道の改良工事予定と進ちよく状況は。

また、十八年度の町単道路改良の申請に対する工事件数は。

答 倉坪産業建設課長

沖野工区は八月、柳原工区は十九年度完成予定である。新浜勝浦線の中山工区は今年度着工、沼江バイパスについては四月から境界立会い、用地補償交渉の予定となっている。

また、町単改良工事は十八年度に四十件の申請があり、その内二十三件が完了または工事中である。



相続手続で遅れている和食勝浦線

高齢者対策 独居老人の

安全確認は

友愛訪問事業などで 安否確認

(福祉課長)

問 高齢化が進み独居老人が増えている。毎

日の安全確認が必要では

答 岩佐福祉課長

独居老人は約二百人いる。安全対策として緊急通報装置や配食サービス、老人会による友愛訪問などを通じ安否確認を実施しているが、日ごろの近所付き合いや地域のつながりも必要と思う。

県道と和食勝浦線の 供用開始を急げ

今後も地元の協力が
必要 (町長)

問 和食勝浦線は県道として認定されている

が、関係用地の相続手続が手間取り供用開始が出来ていない。遍路バスの利用拡大や地域の発展にもつながるので供用開始を急ぐべきだ。

答 町長 長年にわたって地元関係者の

の努力に感謝している。今後、引き続き地元の協力を得ながら対応を考えて行きたい。



岩佐福祉課長

携帯電話への情報配信を

楽ビジョンの充実が先決（参事）

松田貴志 議員



有効活用されるよう充実した内容にして、多くの情報を提供することが先決である。携帯電話への対応は今後の課題としたい。

問 教育委員会では不審者情報などを保護者の携帯にメールで配信し対応しているが、今後は火災発生時の出動要請や行政情報を住民に対して提供できるようにすると同時に、携帯用のホームページを作成してはどうか。

答 戸川参事 楽ビジョンを利用している住民が少ないので



戸川参事

**分別収集計画
数値目標を示しては**

問 ゴミ焼却の外部委託により、ゴミを減ら

すほど委託費用が削減される。今後、具体的な数値目標を示し、住民の理解や協力を得る必要があるのでは。また、過剰包装の抑制やマイバッグ運動推進の協力体制は出来ているのか。

答 松田住民課長

二月からペットボトルと白色トレイ、四月からプラスチックの分別、リサイクルがスタートする。収集量の実績を踏まえ、数値目標を示して行く。

また、マイバッグ運動は手提げバッグを購入し配布したが推進出来ていない。今後は環境町民会議などで各種団体に周知し推進して行く。

**総合型スポーツクラブ
体育協会との
連携は**

問 二年後に総合型スポーツクラブが設立されるが、体育協会とどのよ

うに連携して行くのか。
答 町長 地域に根ざしたクラブになるよう体育協会と担当課で協議をしてもらいたい。

**林業振興
人材育成に
力を入れるべき**

問 十九年度予算では、林業振興費が大きく減額されている。今後、森林の持つ多目的機能を維持するためには、林業に携わる人材育成に力を入れるべきではないか。

答 町長 林業従事者の高齢化に伴う担い手不足の解消は難しいが、かけがえのない財産である森林資源を守るため、引き続き森林の整備に取り組みたい。



手選別されるプラスチック類

元気が一番

みかん作りが 長生きのもと

山村 博さん（今山） 大正4年12月22日生（満91歳）



Q 若い頃の思い出は

A 父が事業に失敗し、小学校卒業と同時に農業を手伝いながら、みかん取り用のかご作りを始め、家計を助けてきた事です。

また、みかんブームが始まり、山を開墾し、ようやく1haの畑が完成し苗木を植えました。

Q 趣味は

A 歌とスポーツです。ゲートボールを始めて十年になり、休みの日にはよく試合に出かけています。

Q 長生きの秘訣は

A わき目も振らず一生懸命みかん作りを続けてきたことが長生きにつながっていると思っています。

Q 好きな食べ物は

A 柿やみかん、ぶどうなどの果物が好きです。

Q 最近の楽しみは

A 毎週火曜日に喜楽苑に出かけ、ゲートボールをしたり、多くの人と世間話をするのが楽しみです。

Q 最近思うことは

A 日本が豊かになりこの国に生まれたことが大変幸せと思っています。

Q 今後、町に望む事は

A 昔、みかんで町が栄えたように、これからも町が栄えるように頑張ってもらいたいと思っています。



40歳頃



「日本語は難しい」と外国人がよく口にしますが、日本人でさえ同じことを感じています。話し言葉ではその意識はありませんが書き方となると趣が変わってきます。ひらがな、カタカナ、漢字、この三種類を使い分けし表現しなければなりません。

言葉は一瞬にして過ぎ去りますが、活字は沈着にして冷徹、周囲の状況に左右されることのない、しっかりとした形がそこにあります。その形を分かりやすく確かなものとして伝えるために頑張ってきた現スタッフによる「議会だより」も今回で最終譜を飾ることになりました。

色々な面で文章に関わることの難しさを体得した四年間でもありました。

皆様の御愛読に心よりお礼申し上げます。

（采）

編集後記

